

台風23号メモリアル防災学習会を開催

～過去の災害を振り返り、教訓を次世代につなげる～

～豊岡河川国道事務所～

円山川において大きな被害が発生した平成16年台風23号を契機に、円山川流域の住民を対象に防災意識の向上を目的とした学習会を平成23年から毎年行っています。「円山川大規模氾濫に関する減災協議会」の具体的な取り組みである「防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充」の一環として今回は気象予報士をお招きし、豊岡の気象特性と気象情報のポイントを講演いただいた後、水害経験者と国・豊岡市の職員が市民に伝えたいことをそれぞれ対談形式でお話しました。被災から13年が経過し、当時の様子を知らない世代も増えてきているので、今後もこのような取り組みを継続して行ってきたいと考えています。

日時:平成29年10月19日(木) 19:00～20:30

場所:豊岡市民プラザ

来場者数:150人

共催:豊岡河川国道事務所・豊岡市・兵庫県但馬県民局

内容:講演、対談、防災パネル展示

1. 開会挨拶

中貝豊岡市長から開会に先立ち、「治水事業は飛躍的に進んできたが、他方で人間の努力を上回る自然の脅威はいつか必ずやってくる。今一度過去の水害を振り返り、その教訓を次世代につないでいくことで地域の防災力を高めて欲しい」と挨拶をされました。

2. 講演

気象予報士の橋詰氏から、豊岡の気象特性と気象情報のポイントについてお話をいただきました。自然災害については知識+準備+情報収集が生死を分けることになるので、決して受け身ならず、一人一人が気象情報に注意して行動して欲しいとおっしゃっていました。

3. 対談

「平成16年台風23号水害で経験したこと」をテーマに、浸水被害を受けた鳥居地区の当時の区長と避難所となった小坂小学校の当時の教頭先生に対談いただいた後、「市民を守るための取り組みと市民へのお願い」をテーマに、豊岡市の防災監と当事務所の副所長に対談いただきました。

■対談のまとめ

- ・災害時の対応について、各自が主体的に行動できるよう、日頃から地域の方たちと話し合い、ルール作りを行うことが重要である。
- ・地区の高齢化率が高くても、人口が少なくても、必ずできることはあるはず。
できないことを探すのではなく何が出来るかを考え、できることからまず始めていただきたい。



【同時開催】メモリアル写真展
台風23号の写真や対策の様子を伝えるパネルを展示しました。



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 調査課
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3 TEL 0796-22-3126(代表)



来場者の様子



講演

